

## 目標

教職員・学生と協働で地球温暖化対策を推進し、大学が使う全ての電力について、2030年度までに自然エネルギー電力へ転換（生産又は調達）することを目指す。

## 計画・取組

### ●再生可能エネルギーの活用に向けた取組

#### (1)太陽光発電等の導入の推進

設置可能な建築物屋上等に太陽光発電設備を設置することを目指す。  
・アゴラ・グローバル（約94kw）、研究講義棟（約20kw）、屋内運動場（約45kw）  
※全体約159kw（数値は2021年7月調査・検討による）

#### (2)新築・既存建物大規模改修における整備

本学が新築、既存建物大規模改修（内外装全体改修程度）においては、太陽光発電設備設置を推進する。

### ●電力の調達や機器の購入・使用に当たっての取組

#### (1)再生可能エネルギー電力調達の推進

2030年度までに本学で調達する電力を再生可能エネルギー電力とすることを目指す。なお、太陽光発電設備設置やLED照明への更新、教職員・学生における省エネ活動等においてエネルギー使用削減に努め、調達する電力量のさらなる削減を図っていく。

#### (2)LED照明の導入

主要な施設のLED照明導入割合を100%に推進する。

#### (3)省エネルギー型機器の導入等

エネルギー消費の多いパソコン、コピー機等のOA機器及び、電気冷蔵庫等の家電製品等の機器について、省エネルギー型のものへの切り替えを推進する。

### ●学生団体の活動“たふえね”

本学、教養科目のひとつである「環境・エネルギー問題の動向と展望」を2021年春学期に受講した学生の内、環境問題や省エネ・再エネに関し活動すべく、有志を中心に学生団体“たふえね”が立ち上がった。大学の正式なサークルとして、2022年春頃の申請を予定している。活動としては既に行っており、自然エネルギー大学リーグへの学生会員への入会・参加や他大学学生との情報交換、また、教室の照明消灯を促すステッカー作りを自らデザインを考え作成する等、積極的な活動を行っている。

現在10数名の学生有志で活動しており、今後活動の輪を広げ、本学約4,300人の学生へも波及していくことで、省エネに対する意識や環境問題への取組が全学的に進められることが期待できる。

### ●建築物の建築、管理等にあたっての取組

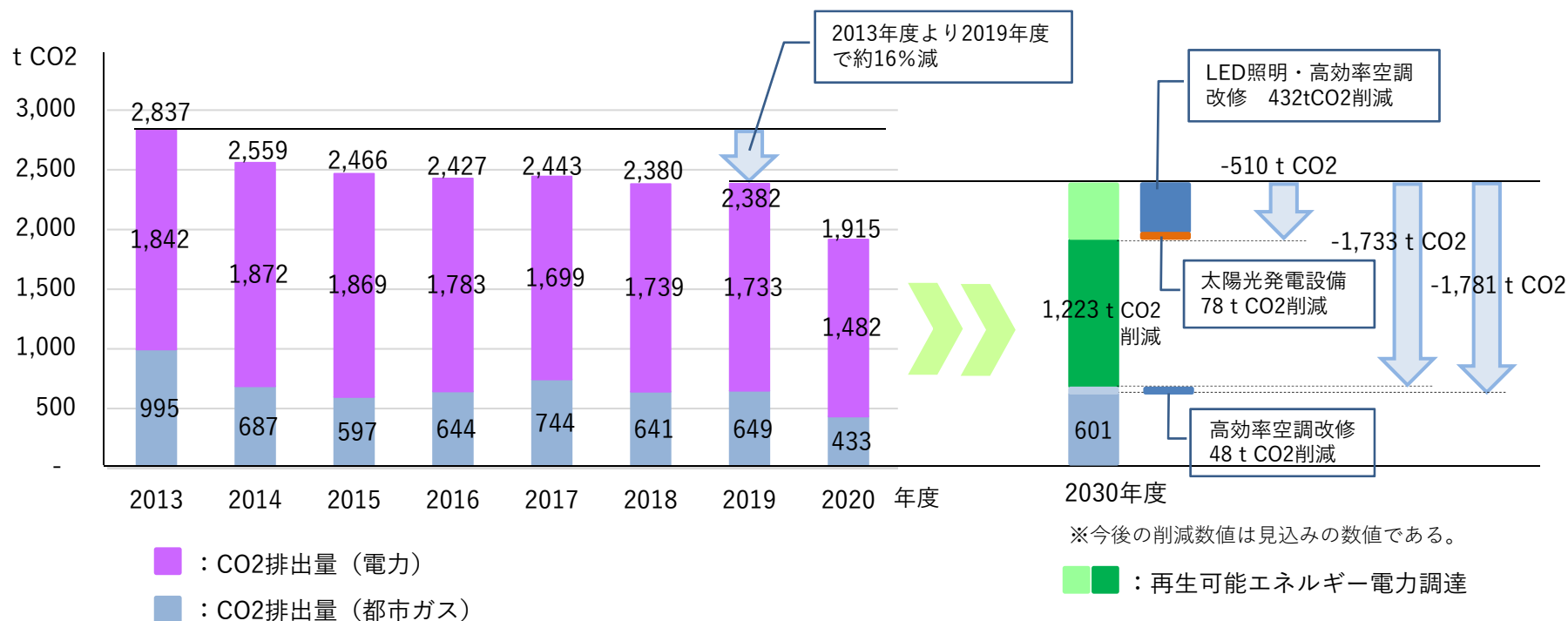
#### (1)建築物における省エネルギー対策の徹底

- ・建築物を新築、大規模改修する際は、省エネルギー対策を徹底し、温室効果ガスの排出の削減等に配慮したものと整備する。
- ・高効率空調機、LED照明等を可能な限り幅広く導入し、温室効果ガスの排出の少ない設備の導入を図る
- ・冷暖房の適正な温度管理を図る。（冷房の場合は28度程度、暖房の場合は20度程度）

#### (2)新しい技術の導入

- ・高いエネルギー効率や優れた温室効果ガス排出削減効果等を確認できる技術を用いた設備、あるいはエネルギーについても、導入の可能性について検討を行い推進する。

## 過去のCO2排出量と今後の削減イメージ



- 政府は2020年10月「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言し、さらに2021年4月に、2030年度の目標として2013年度から46%削減することを目指すことを表明された。この2030年度目標における基準年2013年度からのCO2排出量をグラフに示した。
- 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大学での対面授業が制限され、エネルギー量も例年より極端に低いことから、2019年度から今後の削減イメージとしている。
- 再生可能エネルギー電力調達は、できるだけ早い時期に調達を目指し、LED照明・高効率空調・太陽光発電設備や大学の省エネ活動等により、再生可能エネルギー電力調達量の削減を推進する。

## これまでの取組

### (1) 照明器具のLED化

- ・ 研究講義棟 1階～4階までの講義室等
- ・ 附属図書館 1階～4階の閲覧室等
- ・ 屋内運動場 メインアリーナ・サブアリーナの照明
- ・ アゴラ・グローバル プロメテウスホールの照明
- ・ 屋外 キャンパス内の外灯

### (2) 太陽光発電設備

- ・ 留学生日本語教育センター屋上 30kwh  
(令和2年度実績値：25,212kwh/年、キャンパス全体の約1%、留学生日本語教育センターの約16%)

### (3) コ・ジェネレーション設備

- ・ 370kwh出力の常用発電機2台を有しており、発電時に発生する排熱を空調設備で利用して省エネを実現する、コ・ジェネレーション設備稼働している。

### (4) 大学ホームページにおける電力量の見える化

### (5) 夏の軽装の励行など

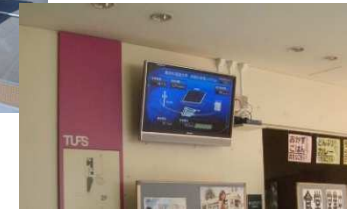
屋内運動場サブアリーナ  
LED照明へ改修



留学生日本語教育センター屋上  
太陽光発電設備 (30kwh)



太陽光発電量の見える化



## 2021年度計画

### (1) 照明器具のLED化

- ・ 留学生日本語教育センター 1階～4階までの講義室等
- ・ 国際交流会館1・2号館 各階共用部
- ・ 本部管理棟 1階～5階までの事務室等
- ・ アジア・アフリカ言語文化研究所 各階教室等
- ・ 屋内運動場 共用部等

### (2) 太陽光発電設備

- ・ 附属図書館屋上 30kwh

### (3) 研究講義棟教室出入り扉を窓付き扉に改修

- ・ 扉を窓付きにすることで、室内の状況が分かるため防犯上の面と、併せて照明の消し忘れが廊下から容易に確認できるため、消灯への啓発を図る。